

# 太陽住建の取組みについて

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
www.taiyogyuken.co.jp/sgd



株式会社 太陽住建

Taiyo Jyuken

- ・ 1985年（34歳）
- ・ 横浜生まれ横浜育ち
- ・ 中学卒業後、外構工事会社に就職
- ・ 24歳の時に独立し「株太陽住建」を設立
- ・ NPO団体 green bird 横浜南 チームリーダー
- ・ 認定NPO法人市民セクターよこはま 理事
- ・ 一般社団法人リビングラボサポートオフィス 代表理事
- ・ 4人の子供のパパでもある



会社名：株式会社 太陽住建  
本社：横浜市南区  
井土ヶ谷下町6-1  
設立日：2009年10月  
資本金：1,000万円  
代表者：河原 勇輝

## ・ 事業内容

### リフォーム事業部

- ・ 住宅リフォーム
- ・ リノベーション工事
- ・ 防衛省住宅防音事業
- ・ 防水工事

### エネルギー事業部

- ・ 太陽光発電システム販売、設置工事
- ・ 神奈川県屋根貸しマッチングビジネス
- ・ オール電化工事

# 月に一度のお客様会議



お客様や私たちと一緒に活動していただいている皆様に「どう感動をお届けできたか」また誰の行動に感動させられたかを発表する会議。

毎回、様々な分野の諸先輩方にご参加いただき感想や激励をいただいております。



「頼んでよかった！」と言って頂ける様、社員一同 心していることは+1%の努力です。お客様より仕事を頂き、お支払も頂き、感謝も頂いたならばすべて頂くだけになります。わずか+1%の努力により100%を超えた瞬間、お客様の心が感謝から感動へと変わると思っております。感動のみが、私たちからお客様にお渡しできる一番大事なものと確信しております。お仕事を通し感動をお伝えできる企業になる。その為当社では安心・自社施工にこだわり全社員が同じ心で仕事に従事させてます。

## ・地域貢献

井土ヶ谷アーバンデザインセンター開設、消防団への加入、  
空き家活用、障がい者等の就労支援、太陽光発電設備の寄付、  
地域の祭へ出展や協賛、復興支援、学びサポート、グリーンバード 等



地域に必要とされる企業を目指し、平成25年3月11日より  
横浜型地域貢献企業最上位の認定を受ける。

## ・子ども達に社会経験を

地域の為に何ができるかを一緒に考え、  
子ども達に学ぶ楽しさ、協同でつくりあげることを知ってもらい、  
「働く」の視点で街を見渡すきっかけに。  
子どもの選択肢の一社となれるよう活動を継続していく。



H31.3.26 プレミアム企業認定を取得

# 本業と一体化した社会貢献を目指して



## ・エネルギー事業



太陽光パネル設置と架台組立て工事を  
障がい者の方々と行い工事の分野での  
雇用拡大に取り組んでいます。

## ・空き家活用プロジェクト



活用されていない空き家を  
地域の防災拠点に。  
一室には防災シェルターを設置、  
また蓄電池付き太陽光発電システム  
を搭載する事で地震が発生しても  
倒壊せず電気の供給も  
途絶えない空間を確保。

## ・福祉避難所

横浜市では、大規模災害の発生時に地域防災拠点や自宅での避難生活が困難な方のため、市内の社会福祉施設などと協定を締結して、「特別避難場所」として位置付けてきた。これを2018年4月から全国でも広く使われている「福祉避難所」に名称を改めた。

課題 電源確保や開設について

熊本地震（2016年）では、予定された熊本市内176箇所の福祉避難所のうち、本震後に開設できたのが34施設。

市側が「問い合わせが殺到して現場が混乱するのでは」との判断から市民に開設を告知しなかったり、施設側も対応できる人数が足りないとして開設を断ったケースもあったそう。

（参照：シニアの安心相談室HP）





## 「Zero Carbon Yokohama」の実現に向けて

SDGs の同時達成！ ～温暖化対策・障害者就労・地域防災～

**太陽光発電設置事業を実施！**  
—横浜発！太陽光発電普及キャンペーン 2020—



横浜市地球温暖化対策推進協議会（以下、「推進協議会」）は、横浜市が目指す「Zero Carbon Yokohama<sup>※1</sup>」の実現に向けた取組として、横浜市との協定に基づき、市内への太陽光発電設備の普及を進める「横浜発！太陽光発電普及キャンペーン2020<sup>※2</sup>」を推進しています。

このたび、本キャンペーンの一環として、推進協議会会員企業である株式会社太陽住建が、市内で高齢者施設を併設し、福祉に積極的に取り組んでいる「一般財団法人 育生会 横浜病院」に、太陽光発電設備を設置しました。

本事業は、リビングラボ<sup>※3</sup>における地域住民と関係者の対話の中で生み出された提案により、太陽光発電設備の設置工事の一部を障害者施設等<sup>※4</sup>が実施することで、障害者等の就労の場をつくとともに、災害時は太陽光発電設備を用いた非常用電源を有する施設<sup>※5</sup>として、地域の安心感にもつながるなど、SDGs（持続可能な開発目標）の複数の目標達成に寄与するものです。

横浜市及び推進協議会は、「Zero Carbon Yokohama」の実現に向け、共創フロント<sup>※6</sup>に提案された本事業の情報発信を行ってまいります。

- 一般財団法人 育生会 横浜病院  
住所：横浜市保土ヶ谷区狩場町 200-7  
太陽光発電設備：容量 48.6kW



SDGs は、世界が抱える貧困問題をはじめ、気候変動や生物多様性、エネルギーなどの様々な問題を解決し、持続可能な社会をつくるために国連で世界各国が合意した 17 の目標と 169 のターゲットです。本事業は、以下の5つの目標達成に寄与する取組です。



# 就労支援プロジェクト



## ・ 太陽光パネル設置工事 2018年1月

実施：社会福祉法人 紡 様

場所：横浜A高等学校



大和市環境管理センター様



20年後には発電システムを撤去する。

太陽光パネルをタイムカプセルに見立て未来への手紙を。

# 就労支援実績



本業と「別」ではなく、  
「本業が社会貢献となり、利益も得られるモデル」づくり。

障がい者や働きづらさを抱える人たちの第一歩、  
自立・継続した雇用へのきっかけを「太陽光発電パネル設置」で提供している。

協力事業所	就労人数	就労後の就職者数	就職率
一般社団法人A	3 名	1 名	33.3 %
株式会社B	3 名	2 名	66.7 %
株式会社C	2 名	1 名	50.0 %
社会福祉法人D	3 名	非公開	—
NPO法人E	3 名	非公開	—
NPO法人F	5 名	0 名	0 %
NPO法人G	3 名	非公開	—

次回の就労現場は川崎市から屋根借りした市所有事業所にて、  
社会福祉法人H様から2～3名の就労予定。



## 第26回 横浜環境活動賞 受賞者決定

横浜環境活動賞は、地域で様々な環境活動を積極的に行っている方々を表彰する制度です。このたび、学識経験者などで構成する「横浜環境活動賞審査委員会」の審査を経て、第26回の受賞者を決定しました。

横浜市は、この制度を通じ、市民の皆様に環境の保全・再生・創造に対する関心をより一層高めていただくとともに、地域の環境活動を推進し、環境にやさしいまちづくりに取り組む方々を応援しています。

### 1 受賞者一覧 (全12名) ※受賞者の概要は別添資料参照 (敬称略)

<p><b>市民の部 (5団体)</b></p> <p>大賞 特定非営利活動法人森ノオト</p> <p>実践賞 (五十百順)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハマの海を想う会</li> <li>保土ヶ谷区民会館(環境分科会)</li> <li>横浜自然観察の森友の会</li> <li>リバーサイドガーデン・フラワーズ</li> </ul>
<p><b>企業の部 (4社)</b></p> <p>大賞 株式会社太陽住建</p> <p>実践賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アマンダリーナ合同会社</li> <li>東芝環境ソリューション株式会社</li> <li>横浜緑地株式会社</li> </ul>
<p><b>児童・生徒・学生の部 (3団体)</b></p> <p>大賞 横浜国立大学附属横浜小学校</p> <p>実践賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市立本郷小学校</li> <li>横浜市立南本郷小学校</li> </ul>
<p><b>生物多様性特別賞 (1団体)</b></p> <p>横浜自然観察の森友の会 ※市民の部実践賞と同時受賞</p>



横浜自然観察の森友の会  
エコびん

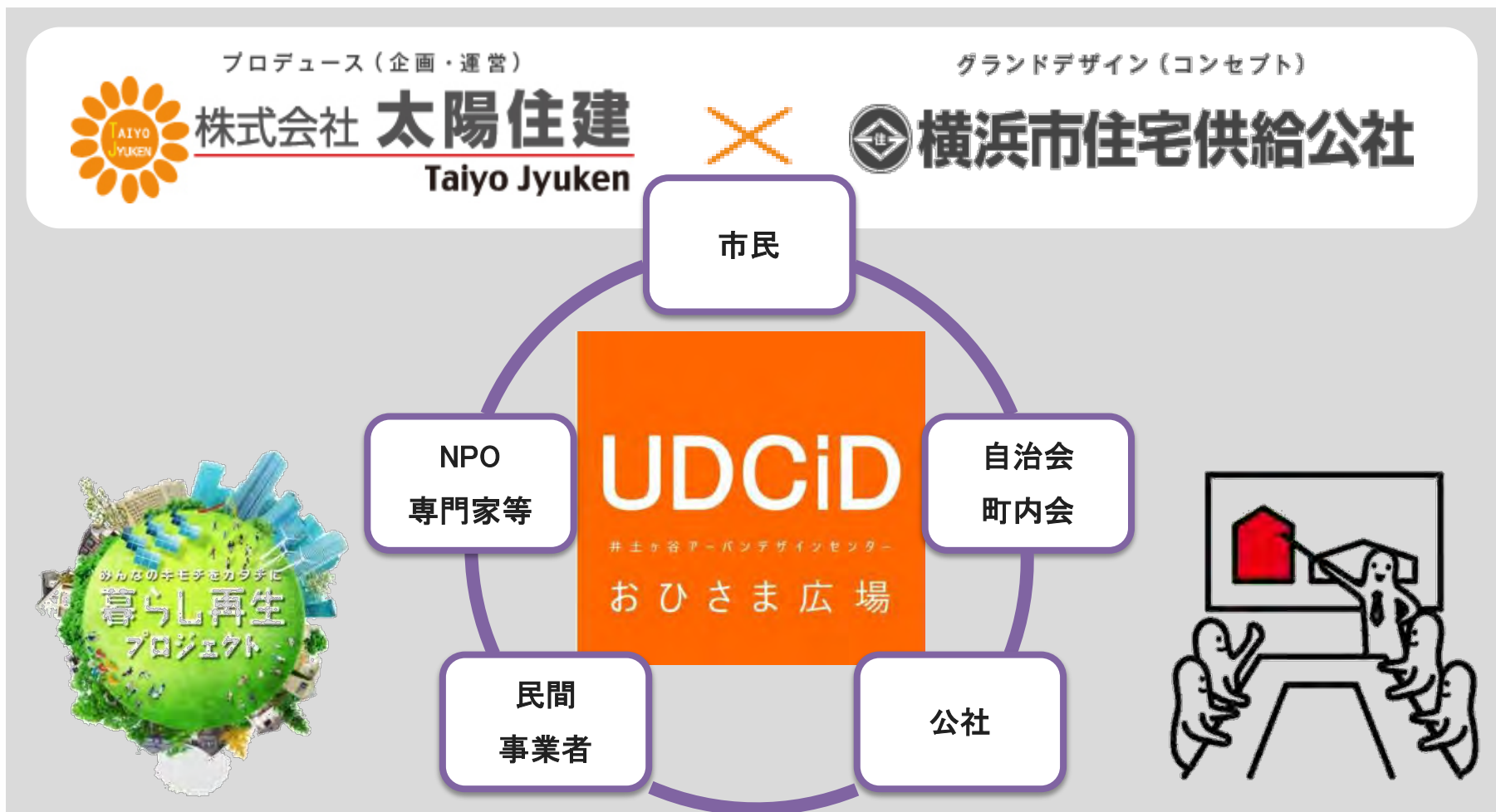
受賞者への取材については、問合せ先にご連絡ください。



# UDCI (井土ヶ谷アーバンデザイン) とは？



未来を見据え公民連携による新しいまち再生の活動拠点として、地域に貢献していきます



# UDCIでの主な開催イベント



・ 様々な組織が主体的にまちづくり等に取り組みます



**まちラボ 植本祭**  
まちの小さな図書館



**神奈川県スタディツアー**  
企業とNPOがつながることで生まれる価値



**大岡川写真展**  
大岡川の魅力再発見！



**10年後の未来を考える**  
中高生と少子高齢化を考える



**ボヌールフェスタ**  
輝く女性を応援するイベント



**鉛筆と箸の持ち方講座**  
プロによる正しい持ち方講座

# UDCIでの主な開催イベント



## ・地域交流イベント「格闘技で町おこし」



K-1選手とのスペシャルマッチ



子ども～シニアまでアツい戦いでした！



社員の皆でイベントを盛り上げました！



# これまでと今後の展開



## リビング・ラボの取組み（DCIを拠点に定期開催）

現状：少子高齢化・人口減少が進む今、地域の課題解決を行政に任せきりにするのではなく、住民や民間企業等が連携して課題解決に向け取り組んでいくことが重要。

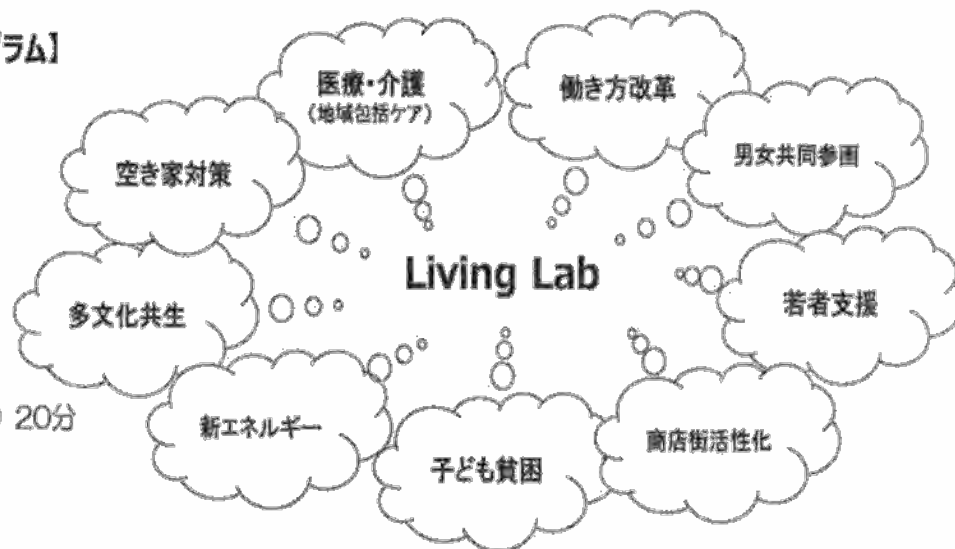
**リビング・ラボ**の中で、地域住民・PO・企業・行政が共に地域の課題を共有・解決に向けた議論を行い  
地域の特性に合う新たなサービスを創造していき  
事業化を目指しています。

## 社会課題をIoT、AI、ビッグデータ、ブロックチェーンなどを活用して新たな商品開発。

地域住民、地元企業、クリエイター、NPO・市民活動団体が、社会課題に対して新しいサービスなどを開発することにより、地域価値の向上、暮らしの再生を行う共創型のプロジェクトです。

### 【9/30（土）17：00第5回井戸ガヤ会議/第1回Living Labプログラム】

1. あいさつ（榎太陽住建河原代表取締役）
2. 井土ヶ谷UDCIが求められていること（30分）
  - （1）男女共同参画（公益社団法人男女共同参画推進協会）
  - （2）環境エネルギー（横浜市地球温暖化対策推進協議会）
  - （3）若者支援（公益社団法人よこはまユース）
  - （4）医療・介護※地域包括ケア（横浜市大岡地域ケアプラザ）
4. IoT、ビッグデータを活用した見守りサービス（榎エンコアードジャパン）20分
5. 情報交換（15分×3回）
6. 地産地消型エネルギービジネス（スマートエナジー研究所中村氏）20分
7. Living Labについて（榎太陽住建河原会長）



Copyright© Yokohama City Housing Development Public Corporation All Rights Reserved.

Living Lab  
Family



区別の一戸建住宅総数に占める「放置空き家」率

中区	6.1%	金沢区	2.8%
南区	5.3%	港南区	2.8%
保土ヶ谷区	4.7%	瀬谷区	2.8%
港北区	4.2%	都筑区	2.8%
鶴見区	3.9%	泉区	2.7%
神奈川区	3.7%	緑区	2.5%
旭区	3.7%	青葉区	2.4%
戸塚区	3.5%	西区	1.9%
磯子区	3.2%	栄区	1.3%

空き家を活動拠点  
にしたい

所有している空き家を  
地域に活用してほしい

地元不動産

地域ケアプラザ

町内会

NPO

地元工務店

Etc...

弁護士

あそこの空き家を活用  
できないか？

美容室

Living Lab  
Family 

## ・スギタ Yワイ広場

第1回 Living Lab 「コミュニティスペースの活用」 (2018.05.17)



スギタ Yワイ広場

2F  
コワーキング  
スペース  
(大小合計4室)

1F  
コミュニティスペース  
(キッチン、床の間あり)

地域  
ケアプラザ

市民活動  
支援センター

太陽住建

区役所

社会福祉  
協議会

みなさまにとって  
「居心地のいい場」を  
めざします！



磯子区中原にある空き家を、コミュニティスペース及びコワーキング・スペースへとリノベーションして活用。共有スペースは、みんなでアイディアを出し合い、地域の方々や入居する方々が自然と世間話ができるような地域の場づくりを目指します。

- ・ 最寄りの町内会館が倒壊



本来、地域の避難者を収容するべき町内会館が倒壊。  
高齢者が炎天下の中テントで生活。

## ・ 空き家→地域の避難場所



耐震シェルター 剛建  
有限会社 宮田鉄工



株式会社 太陽住建  
Taiyo Jyuken

# 中区空きアパートの現在の様子



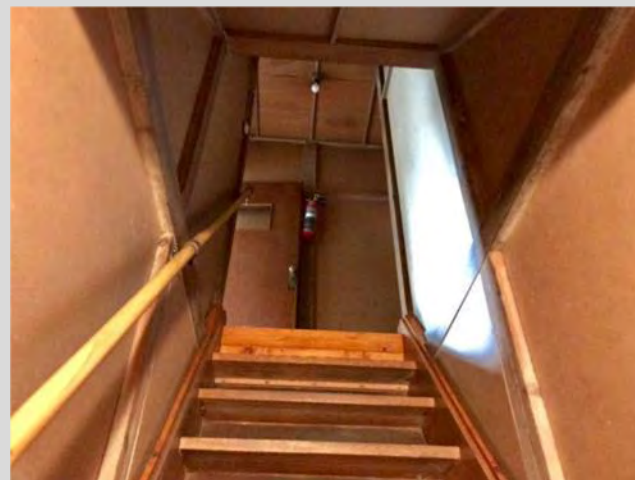
## ・中区空きアパート詳細



築58年

4部屋

行政、社会福祉協議会、地域ケアプラザ、  
横浜国立大学生と活用に向け、打ち合わせ中。



# 「green bird」を通じた多世代の繋がり



杉田駅周辺



磯子駅周辺



井土ヶ谷駅周辺



蒔田公園周辺



## ・総合的な学習の時間

### 6年3組 取り組み課題 「Dream Jobs」



まちで働く人の話を聞いて、仕事を知る取り組みに河原が参加。



後日「何か一緒に活動したい!」という思いから、地域の祭で一緒に活動することに。  
来場された方にソーラーバットの組み立てを伝えられるように事前準備。

# 横浜立日枝小学校との取り組み



左から1回目、3回目、そして右が完成版5回目のデザイン案。



# 2030年へ エネルギー事業部



## ターゲット 8.5

2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。

## ターゲット 7.2

2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。

福祉避難所432か所×45kW  
= **19,440kW**  
(横浜市太陽光設置目標の内、  
12.15%に貢献)

## 指標 7.2.1

最終エネルギー消費量に占める再生可能エネルギー比率

## 指標8.5.1

女性及び男性労働者の平均時給（職業、年齢、障害者別）



ディーセントワークと太陽光発電で創る（福祉避難所）



「全てに通じる」

36か所  
(福祉避難所)



## ターゲット 17.16

全ての国々、特に開発途上国での持続可能な開発目標の達成を支援すべく、知識、専門的知見、技術及び資金源を動員、共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完しつつ、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する。

2019年(10期)

2030年(22期)



## ターゲット 12.8

2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようになる。

## ターゲット 11.7

2030年までに、女性、子供、高齢者及び障害者を含め、人々に安全で包括的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普及的アクセスを提供する。

横浜市内36拠点  
全国拠点56拠点

## 指標 7.2.1

都市部の住宅密集区域における公共目的に自由に利用できるスペースの割合の平均

「全てに通じる」



## ターゲット 17.16

全ての国々、特に開発途上国での持続可能な開発目標の達成を支援すべく、知識、専門的知見、技術及び資金源を動員、共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完しつつ、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する。



空き家を活用し、様々な企業・市民団体とともに地域の居場所をつくる

4拠点



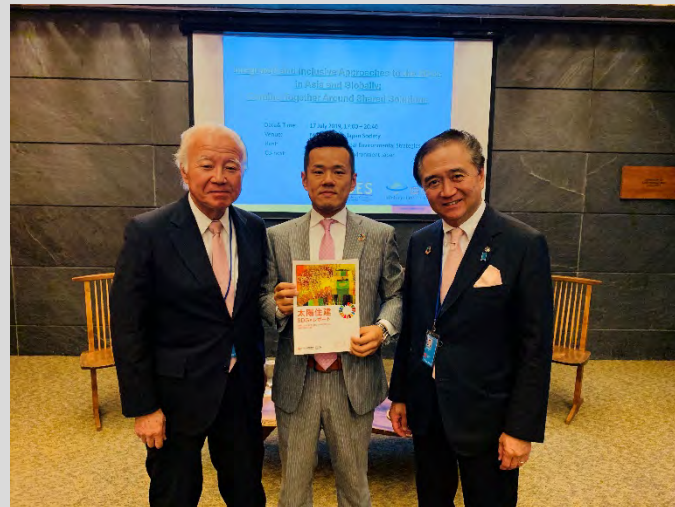
2019年(10期)

2030年(22期)

# NY 国連ハイレベル政治フォーラム (HLPF)



- ・ サイドイベントにて、SDGs レポートを発表 (中小企業版VNR・VLR)





## 縁によって起こる 見えない価値を大切に



様々な方たちとの縁によって繋がり  
地域活動を通して結ばれることは企業価値を高め  
本業においても選ばれる企業に

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



# ご清聴有難うございました

太陽住建はお客様の「頼んで良かった！」の声に  
応え続け**100年企業**を目指して参ります



**0 1 2 0 - 4 6 0 - 0 2 5**



横浜型  
地域貢献企業  
最上位認定



株式会社 **太陽住建**  
Taiyo Jyuken